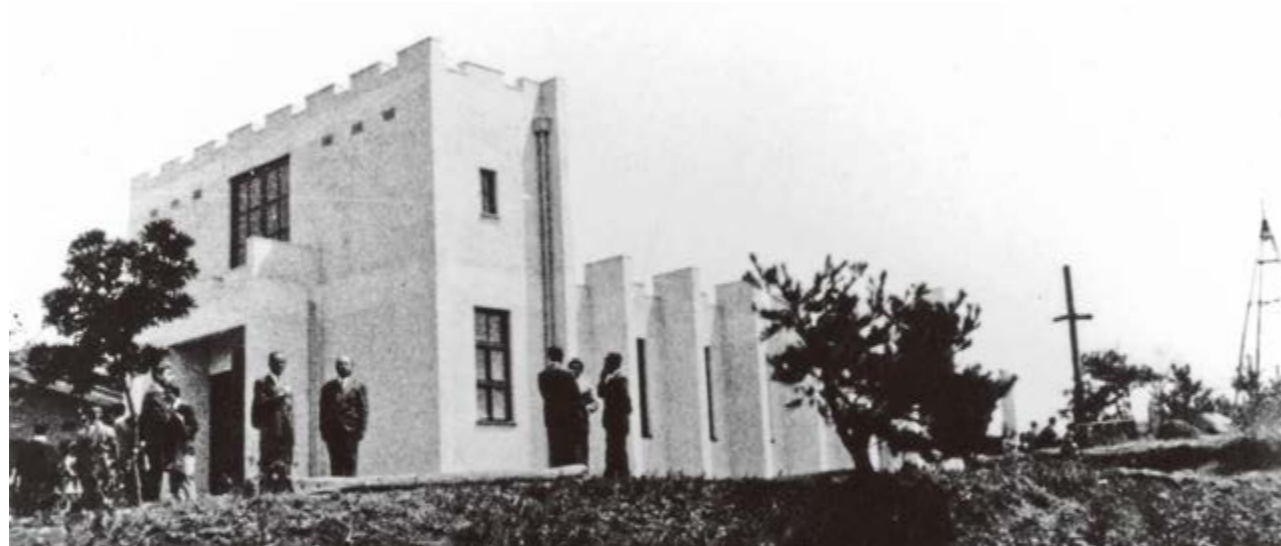


III - 3

桜美林学園の創立と展開
荊冠堂と桜美林教会

桜美林教会

桜美林教会は1948年、桜美林学園の創立者である清水安三を初代主任牧師として設立された。設立当初は多くの生徒が洗礼を受け、学園内の教室で礼拝を守ってきた。「復活の丘」と呼ばれる尾根緑道沿いの現在の場所に移転したのは1967年。新たに教会を建設する際、世界学生ワークキャンプの人々や学生生徒の労働奉仕があったとの記録が残っている。当初、礼拝出席者の多くは学園関係者で、在職中に亡くなった教職員の追悼礼拝や、新任教職員就任式なども行っていた。現在は、地域に開かれた教会を目指し、地域の方々も多く礼拝に出席している。教会の敷地には、安三の住居だった「石ころ庵」が併設されている。2008年、Oberlin Shansi Memorial Associationの100周年を記念して、石ころ庵の石がOberlin Shansi Houseに贈られた。



■ 復活の丘教会（桜美林教会）完成（1966年7月）
1966年7月、世界ワークキャンプや学生生徒の労働奉仕により「復活の丘」に教会が完成。



■ ブロック積みをする奉仕者（1966年）
教会建設のためブロックを積む奉仕者たち。



■ 住居の前に立つ清水安三（1974年）
住居（現在の石ころ庵）の前で野良作業をする清水安三を、教会へ遊びに行った生徒が撮影。
(永長裕氏提供)



■ 教職員追悼礼拝（1978年6月）
かつて在職中に亡くなった教職員の追悼礼拝が毎年6月の第4日曜日に行われていた。



■ カリヨン奉鐘式（1994年12月4日）
カリヨン（鐘）が勝見まさ短大助教授（当時）から寄贈され、1994年12月、奉鐘式が行われた。



■ 新任教職員就任式（2008年4月1日）
礼拝形式で執り行われた新任教職員の就任式。



■ Oberlin Shansi House 中庭に置かれた石ころ庵の石（2008年5月26日）
手前左から3番目、日本語と英語で「桜美林大学」と書かれている。

III - 3

桜美林学園の創立と展開 荊冠堂と桜美林教会

荊冠堂チャペル

1958年3月、卒業式の真っ最中に倉庫から火災が発生し、開学以来の講堂兼食堂などを全焼した。直ちに再建に乗り出し、国内外から多くの援助を受けながらチャペルの建設に着手し、1959年3月に完成した。「荊冠堂」と名付けられたチャペルの正面外壁には「苦難を通して栄光に入る」という意味を込められた校章 (three nails crown) が掛けられた。現在のチャペルは、学園創立60周年事業として旧チャペルの跡地に建て替えられ、2007年12月に完成。チャペル屋根は緩やかに天に向かって伸びる珍しい渦巻き型の形状となっており、キリストが歩んだ「苦難と十字架」の道行きと「復活と昇天」の栄光を表現している。学園のキリスト教主義の理念を表わしたチャペルとして、日常の礼拝をはじめさまざまな学校行事で使われるとともに、パイプオルガンコンサートや市民クリスマスなどの催しを通じて、学内外の交流の場としても用いられている。



■ 旧チャペル外観 (1975年頃)
学園のシンボルとして学生のキャンパスライフに溶け込む旧チャペル。



■ 旧チャペル上棟式 (1958年7月)
1958年7月、旧チャペルの建設が着工された。



■ 旧チャペルパイプオルガン奉献式 (1988年11月26日)
川上よし元校長のご寄付により創立者の念願だったオルガンが完成。



■ 荊冠堂チャペルお別れ礼拝 (2006年2月25日)
建て替えが決まった旧チャペルのお別れ礼拝。650名もの参加者が別れを惜しんだ。



■ 新チャペル建築 (2006年)
旧チャペル、旧明々館、文哉館跡に建設を進める新しいチャペル。



■ 新チャペル定礎式 (2007年12月15日)
現在のチャペルは2007年12月に完成し、翌年3月29日に献堂式が行われた。



■ 新チャペルのパイプオルガン初の音出し (2008年2月25日)
新チャペルのオルガンはドイツとフランスの響きを融合した明るく艶のある響き。



■ 新チャペルの定礎板 (2007年12月15日)
入口に設置された定礎板には、小さな瓦とガラスプレートが埋め込まれている。



■ 陳経綸中学から贈られた崇貞学園の当時の校舎の瓦



■ The First Church in Oberlinから贈られたガラスプレート

III - 3

桜美林学園の創立と展開
荊冠堂と桜美林教会

礼拝

桜美林学園は、キリスト教主義の学園として、創立以来、礼拝を大切に守ってきた。学生・生徒・園児には設置校毎にキリスト教暦に従って礼拝を守り、教職員は毎朝礼拝を献げる中で一日の業務を始めることを継続している。日常の礼拝のほか、創立記念日礼拝、創立記念週間、キリスト教強調週間、クリスマス音楽礼拝など特別な集会も実施。建学の精神に基づく本学園の伝統を継承・発展させるべく、入学式・卒業式などの式典をはじめ、建物の起工式・竣工式やスクールバスの奉献式といった校事も礼拝形式で執り行われている。



■ 旧チャペルでの礼拝 (1960年頃)
旧チャペルでの礼拝に参加する生徒たち。



■ 還暦祝礼拝 (2008年4月29日)
同窓会主催の第3回還暦祝い礼拝。かつての桜祭りと同時期に行われ、85名が参加。



■ 新年礼拝 (2010年1月7日)
毎年1月7日に行われる教職員の礼拝。一同で讃美歌を斉唱。



■ 年間聖句発表 (2010年1月7日)
新年礼拝でその年の年間聖句を発表。書は高橋静豪名誉教授によるもの。



■ 清水安三召天記念礼拝 (2012年1月17日)
毎年1月に行われる創立者追悼礼拝。学生・生徒・学園関係者が参加。



■ 新宿キャンパス起工式 (2017年4月27日)
礼拝形式で起工式が進められ、「聖書定礎」で聖書を地中に収めた。



■ 幼稚園バス奉献式 (2018年4月2日)
新しいスクールバスに紅白のワインをかけて祝福。